

京都市立七条小学校 学校沿革史＜概要＞

明治 5 年	「京都府葛野郡西七条小学校」として、山城国葛野郡西七条村に校舎を新築して創設。 教員（男）3 名 在籍児童数（男子 110 名、女子 88 名、計 198 名） ＜昭和になり、百周年を迎えようとした時、文部省の記録で分った。それまでは、明治 8 年が創立と思われていた。＞
明治 22 年 4 月	「七条村立七条小学校」となる。
明治 31 年 10 月	「葛野郡七条尋常小学校」と「葛野郡唐橋尋常小学校」を合併して、「七条村立尋常小学校」となる。 今の七条石井町 61 に新校舎ができ、開校する。
明治 34 年 10 月 1 日	創立記念日として記念式典が行われ、昼から運動会が行われた。
大正 7 年 4 月	七条村が京都市に編入され下京区になり、「京都市立七条尋常小学校」となる。
大正 13 年 5 月	しいのみ（育成）学級が設置される。 昭和 20 年 3 月までで、昭和 34 年 5 月より再開される。
昭和 8 年 11 月 4 日	「京都市立七条第二小学校」（現・唐橋小学校）を創立。 JR より南の児童が移っていった。
昭和 12 年 1 月 8 日	「京都市立七条第三小学校」を創立。 七条通りより北の児童が移っていった。「京都市立七条第三小学校」ができる前の 12 月は、2,144 名の児童であった。
昭和 16 年 4 月 1 日	「京都市立七条国民学校」と改称。
昭和 22 年 4 月 1 日	「京都市立七条小学校」と改称。（在籍児童数 1,880 名 39 学級） 5 月に育友会ができる。
昭和 31 年	この年の在籍児童数は、2,071 名 42 学級で最多。
昭和 33 年 4 月	「西大路分校」ができる。 1～3 年の 256 名（6 学級）の児童が移っていった。
昭和 35 年 3 月 13 日	保健体育指導研究の功績により、文部省表彰を受ける。
昭和 41 年 7 月	プール完成。（7 月 29 日 プール開き） 創立 90 周年記念事業を行う。西通用門完成。
昭和 42 年 4 月 1 日	「京都市立西大路小学校」ができる。
昭和 47 年 10 月 1 日	創立 100 周年記念式典挙行。校歌制定。 南校舎建設に伴う発掘調査が、京都市埋蔵文化研究所により行われる。その結果、「平安京右京八条二坊」遺跡と名付けられる。遺跡からは、平安時代中期の建物跡や池の跡、多数の木簡、土器等が見つかる。
昭和 59 年 1 月 28 日	竣工式。
2 月 10 日	新校舎完成を祝う会
昭和 60 年	給食室改築に伴う発掘調査が行われる。（2 次調査）遺跡からは、条坊及び宅地割に関する遺構が見つかる。また、木簡 28、土器、木で作った容器

	などの遺物が出土。
平成 5 年	プールの全面改修に伴って、発掘調査（3 次調査）が行われる。この結果、平安時代初めの庶民の家（南北に長い建物と東西に長い建物 1 軒ずつ）が発掘され、平安京研究史上「画期的な発見」となる。
平成 6 年 7 月 1 9 日	待望の新プールが完成。プール開きを行う。
1 1 月 2 0 日	七条校の校庭のクスノキが「名木 1 0 0 選」に選ばれる。
平成 9 年	京都市で初めての病弱育成学級新設。車椅子用の通路を設置。
平成 1 4 年	創立 1 3 0 周年（在籍児童数 321 名 14 学級） 記念講演会 「熱き感動を求めて」 伏見工業高校ラグビー部総監督 山口良治氏 「憩いのコーナー」に防火水槽設置。せせらぎ、ビオトープ、うさぎ小屋、水鳥小屋を整備。
平成 1 5 年	大文字駅伝出場 6 位入賞
平成 1 7 年	七条第三学童保育所「七条学童クラブ分室」が北校舎に開設される。 京都市教育委員会「みやこ学校創生事業」研究指定校となる。
平成 2 0 年	学校運営協議会を設置。
平成 2 3 年	校旗の寄贈を受ける。
平成 2 4 年	創立 1 4 0 周年式典を行う。（在校児童数 430 名 16 学級） 大文字駅伝出場 8 区区間賞
平成 2 7 年 1 0 月 2 5 日	京都府内小・中・高校創造性コンクールで、「京都市教育長賞」を受賞。
平成 2 7 年 1 2 月 4 日	第 48 回全国小学校理科研究大会京都大会 会場校 研究発表会を実施。
平成 2 8 年 5 月 1 0 日	京都府から『愛鳥モデル校』として 3 年間指定される。
平成 2 8 年 1 1 月 3 日	京都府内小・中・高校創造性コンクールで、「京都新聞社賞」を受賞。
平成 2 9 年 1 月 2 0 日	京都理科研究会研究協議会と本校研究発表会を共同開催する。